

2021. 9. 6

# 技術をつなぐ

## 東京鋏螺工機

### 岩井敏信さん 横山龍世さん

# 現場 直線!

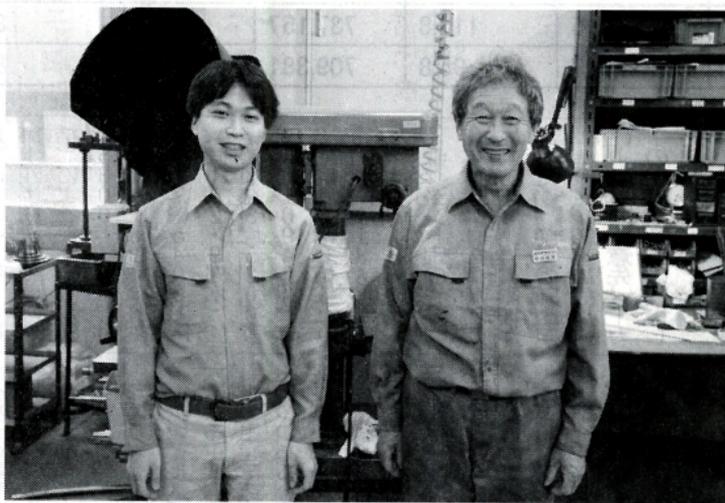
超硬金型メーカーの東京鋏螺工機(株)(埼玉県新座市、高味寿光社長)で金型の最終工

程を担うのは、製造部の岩井敏信さん(73)と横山龍世さん(23)だ。

ベテラン社員の技術を若手に承継していく取組みを進めている同社。製品を鏡面に仕上げていく最終の磨き(ラツブ)工程は自動化できない人の手が品質を左右する熟練技術だ。同社で39年の経験を持つ岩井さんは、送られてくる図面を見て1000分の1台レベルの感覚を頼りに加工していく。「全て違う製品を仕上げていく楽しさがある」と話す。定年を設定していない同社、今後も長く働いていく考えだ。

若手ながらすでに7年の経験をもつ横山さんは、機械加工を経験した後に同現場に配属された。熟練技術について、「目で見て覚えて自分なりのやり方を掴んでいくしかない」と話す。輝く鏡面に仕

上げていく工程、難しい形状を上手くクリアできた時、新しい技術を覚えて仕事の幅を広く、コミュニケーションがとりやすく雰囲気の良い環境」と話す。技術をつなげていくためには職場環境も重要である。二人に職場について聞くことがわかる。



横山さん(左)と岩井さん